

単元名 0の たしざんと ひきざん

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 0を含むたし算・ひき算の仕方について理解し、計算することができるとともに、0についての理解を深めることができる。
 (2) 0を含む場合もたし算・ひき算を用いることを考えることができる。
 (3) 0のたし算・ひき算を用いる場面に興味・関心をもち、進んで用いようとする。

標準的な展開例

01040211_001

【準備等】玉入れ用のかご、玉、記録用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 0を含む加法の計算をする。[p.122]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○玉入れ遊びをする。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★0をふくむたしざんのしかたをかんがえよう。 ○0を含む加法の計算の仕方を考える。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>2 0を含む減法の計算をする。[p.123]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペットボトルボウリングをする。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★0をふくむひきざんのしかたをかんがえよう。 ○0を含むひき算の計算の仕方を考える。 ○「練習問題」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(1回目の数) + (2回目の数) = (合わせた数)の形を強調しておく。 ・0をたすということと、0にたすということの意味を具体的な場面に即して考えさせる。 <p>【評】0の含まれた加法の計算練習をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1回目の数」と「2回目の数」の差が「違い」となることを知らせる。 ・大きい数から小さい数をひくことを確認する <p>【評】0の含まれた減法の計算練習をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

【備 考】

本単元は、0を含む加減計算を学習する。0の概念についてはすでに学習しているが、0の計算の意味は理解が難しいと思われるので、玉入れなどの具体的な場面を設定して、0の計算の意味を実感できるように単元を構想することが大切である。